

よく頑張りましたー6月の表彰ー

6月22日(金)期末テストが終わった後の6校時、体育館で全校集会を行いました。3日間にわたる期末テストが終わった直後であり、久しぶりの晴天で暑さも増しているとあって、全校生徒の皆さんも疲れを隠しきれない様子でしたが、校長講話、表彰、教委育実習解務式と続く長時間にわたる集会にしっかりとした態度で臨んでくれました。「さすが中央中の生徒」と、集会が終わった後、とってもうれしくなりました。

まず表彰された皆さんをご紹介します。旅行的行事などが続く大変忙しいなか、よく頑張りました。受賞された皆さん、本当におめでとうございます。

【歯・口の健康啓発図画・ポスターコンクール】 ※敬称、記録略 (数字)は学年

○ポスターの部 佳作 新井美裕(3)
佳作 岡田力也(2)

【歯・口の健康啓発標語コンクール】
3等賞 村岡美桜(3)

【水泳部】

○北関東水泳競技大会
男子200m背泳ぎ 第3位 小濱壱晟(3)
(中学1~3年)

○桐生市・みどり市中学校春季水泳競技大会
男子200m背泳ぎ 第1位(大会新) 小濱壱晟(3)
男子100m背泳ぎ 第2位(大会新) 小濱壱晟(3)
男子100m自由形 第1位 丹羽歩夢(3)
男子200m自由形 第1位 丹羽歩夢(3)

【ボウリング】

○エフエム群馬杯群馬県チーム選手権大会
混合5人チーム戦 第5位 金子萌夏(2) ジュニアクラブA
○群馬県ジュニアボウリング競技大会
中学生の部女子 準優勝 金子萌夏(2)
○群馬県ジュニアボウリング競技大会
中学生の部女子 H/G225 金子萌夏(2)

【お詫びと訂正】

学校通信第4号でお知らせしました5月の表彰の学年表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 田村心菜(3) 宮崎裕太(3) 兒玉結貴(3)

(正) 田村心菜(1) 宮崎裕太(1) 兒玉結貴(1)

※ 敬称略

表彰に続いて行われた校長講話で、寺島は以下のような話をしました。

【愛のあるパス】

期末テストお疲れ様でした。2年生の皆さんは栃木、足利への校外学習、1年生の皆さんが高原学校と、大変お疲れ様でした。楽しかったですか？既に修学旅行を終えている3年生の皆さんを含めて、ここから見ていても、なんだか、全員がたくましくなったなという印象を受けます。

少し前の話になりますが、部活動の春季大会で頑張る皆さんの姿からも、たくさんの

勇気と元気とをもらいました。ところで、春季大会と言えば、昨年の春季大会で、私は、今でも忘れられないひとと言と出会いました。今日は、そのお話を皆さんにご紹介します。それは昨年度のバスケットボールの市の春季大会の試合中のことでした。

素人が見てもいいパスだと思えるパスを放った選手に対して、顧問の先生が「今のは悪くないけど愛がない」と伝えたのです。

それを聞いた私は、素人という立場を忘れて顧問の先生に、思わず「パスには愛が必要ですか？」と聞き返しました。すると、その先生は、「今のはプレーとしては悪くありませんが、パスには愛が必要です。受ける相手を取りやすいものでなければプレーが途絶えてしまうのからです。」とわかりやすく教えてくれたのです。

一つのパスがチーム全体のプレーにどう影響するかを思い、自分の行動を決めていこうとする姿勢が愛なんだと理解しました。

皆さにお伝えしたいのはこれだけなのですが、なぜ、昨年度の他の学校の話をおぼろげにお伝えしているかということ、昔から6月から7月にかけて、どこの学校ということに関係なく、また、小学校とか中学校とかの学校の種類にも関係なく事故やトラブルが多く発生するからです。いろいろな原因が考えられますが、4月からの疲れが溜まっていること、(今日はたまたま晴れていますが)雨続きで思いっきり体を動かすことができないこと、湿度が高く不快な状態が続くことなどが大きく関わっているものと考えられます。それでもテストまでは緊張感がありますから気持ちも引き締まっていますが、終わった途端に気が緩み、ちょっとした不注意で大きなけがを負ったり、何でもないことで友達とけんかしたりといったことが起こりやすくなります。この時期は誰しもいらいらしやすくなるのではないのでしょうか。私も最近自分の心がぎすぎすしているなど感じているところです。

いらいらした心は、感情にまかせてきつい言葉を相手に投げるといって形になってしまいます。きつい言葉は、相手はその言葉をどう受け取るのか全然考えていないところから生まれます。そうなっては、パスをつないでシュートを決めるバスケットボールをやっているはずが、いつの間にかキャッチできないボールを相手にぶつけて場外に追い出すドッチボールに変わってしまいます。言葉もボールと同じではないのでしょうか。

ボールの受け手が取りやすいパスを数多く投げられたチームが勝利に輝くように、受け止めやすい言葉を相手に送り、みんなで気持ちよくシュートを決めていくことが学校全体の力を高めていくのだと思います。全員の協力で、愛のあるパスを送り送られ、楽しい夏休みを迎えるようにしましょう。

・疲れているのに、しっかりと話を聞いてくれてありがとう。

全校集会の最後は教育実習の解務式でした。

これは、6月4日(月)から22日(金)までの3週間、中央中で教育実習を行っていた教育実習生とお別れの会で、実習生から3週間の実習を振り返っての感想や今後の抱負などを話してもらいました。

実習生は中央中の卒業生で、東京にある工学院大学に通う永井悠理さんです。永井先生は数学がご専門で、2年3組に籍を置きながら、数学の授業や道徳の授業を行ったり、給食指導や学活など学級担任の仕事を経験したりしました。また、専門の数学はもちろんのこと、先輩の先生がたの修業をたくさん観察し、授業づくりについて学びました。



▲研究授業を行う永井先生

忙しい教育実習を笑顔で乗り切った永井先生、解務式では、母校中央中の在校生の学習態度を褒めていました。この実習、本気で教員を目指している永井先生にとって忘れられない思い出となったようです。3週間お疲れ様でした。